常磐毎日新聞

日刊

夕刊

發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番

印刷所　常磐毎日印刷株式會社

天氣豫報
今晩は北西風
明日も北西の
晴一時曇

磐中の上級進學は曾つてない好成績

大學九十一名の合格者！

夫々の部門目がけて進出

磐中における今年の上級學校志望者は百餘名に達したが其內既に六十五名が合格の榮冠を擔ひ更らに卒業生の本年合格者を合すれば九十一名といふ且つてない好成績を示し淺水校長も大いに面目を施し各關係者一同大喜びである、合格者數は左の如し

△陸士豫科三△海兵一△陸軍經理二△軍官學校一△大泉師範六△海軍機關一△米澤高工二△福師三△盛岡高農一△中央氣象臺養成二△岐阜藥專二△橫濱高工三△東京外語二△橫濱高商一△府立高工一△多賀高工一二△盛岡高工二△福島高商一△仙臺高工八△秋田鑛專四

△ハルピン學院二△南滿工業一△松本高工一△北大一△藤原工業三△水高七△名古屋高商一△三重高農一△小樽高商二△明治藥專一△早稻田高等學院二△一高二△東京高師一△靑山師範一△東京高農二△弘前高工一△二高二△神戸高商一

困苦欠乏に耐え銃後家庭を强化

愛婦平分會の決議

けふの總會大盛況

聖戰下における日本女性の意氣を昂揚すると共にます／＼この結果を固めんとする愛國婦人會平市分會の第一回總會は既報の如く今十一日午前十時から後藤元內相夫人、高橋本縣警察部長夫人、其他本部並に支部役員臨席の下に來賓會員多數出席市公會堂に開催、分會長の開式の辭に始まり宮城を遙拜して型の如く進行決議及び申合せを可決し來賓總代野崎議長祝辭あつて傷病軍人及び軍人遺家族へ慰問品を贈與、靑沼市長夫人其他功勞者や永年勤續役員の表彰あつて正午に休憩、午後一時から本部特派中山多可子女史の時局講演に出席者一同感動、餘興の手踊り等に賑ひを見た、尙表彰された永年勤續役員は幹事大和田コト、久野ひさ、山崎菊子、藤井ヒサ、大河原きよ、桑原ナカ、松本充弘の七氏である、因に決議及び申合せは左記の如くである

決議

興亞の聖戰二年十ケ月皇軍赫々の武威大陸を蔽ひ今や更正新支那の建設其の緒に就く然れども內外の情勢は益々複雜にして時局の前途は寔に遼遠なり此の秋に處し吾等會員は愈々結果を鞏うし堅忍持久の節を持し如何なる困苦缺乏にも耐へ銃後家庭の强化を圖り誓つて婦人報國の使命完遂に邁進せんことを期す

申合

一、母や姉妹同樣の心を以て傷痍軍人並に軍人の遺族家族の御世話を致しませう

一、國防の第一線に立つ方々を慰め其の後顧の憂を除きませう

一、各種の會合には時間を勵行し進んで出席致しませう

一、生活を合理化して家庭經濟の確立を計り長期戰下銃後日本婦人の心構へを固めませう

一、常に時局を認識し一切の私心を捨てて協力一致銃後女性の本分を完ふ致しませう

愛婦へ寄附

小名濱町字磐町久保田家政婦會長久保田いねさんはこの程町役場を通じ愛國本縣支部救護事業費の一部にと金五十圓を寄附した

植田署檢閲

植田署管內二町七ケ村の警防團聯合檢閲は十四日植田校々庭で執行される

改築後の回春園名實共に東北一

患者の收容力も增大

來月早々着工の豫定

既報豐間村の縣立回春園は工費十六萬八千餘圓で改築の計劃に依其後縣衞生課で着々準備を進めてゐたが目下縣營繕課で設計を急いでゐる第三病棟百七十七坪があと十日內外で出來上るので遲くも今月末までに請負入札に附した後五月初旬から第一期工事に着手することになつた

生れ替はる新病舍は第一、第二、第三の三病棟から成る總建坪八百八十二坪の木造一階建で第三病棟が第一期工事として第一病棟、第二病棟の順に改築し年度內に完成の豫定で患者の收容人員も現在の六十名を百十名に增加また醫療施設も五萬圓餘を投じて設備を完備させ名實共に明るい東北一の結核療養所たらしめる筈である

市街地信用組合

平金庫で聯合總會

縣下市街地平、福島、若松、郡山、白河、須賀川四市二ケ町の信用組合聯合總會は十三日午後一時から平庶民金庫樓上で開催されることになつたが當日は十ケ年勤續役員表彰の後事務研究並に組合事業について懇談する筈

四千圓の橫領嫌疑

九面漁業組合が改組更生へ

既報五月下旬頃開港のはこびとなつた勿來町九面港はこれを前にして同町漁業組合長渡邊恒太郎氏(四六)が約四千圓の橫領嫌疑で送檢され續いて幹部が總辭職したゝめ各方面からその成行を注目されてゐたが十日縣から改組及び更生指導のため笠松技手が出張組合總會を開き左記事項を附議した

◇組合長並に理事の改選◇勿來九面港の荷揚げ岸壁と六號國道との連絡道路の改修◇魚市場の開設及び同事務所の新設その他數項

劍道は平市が二年連勝の榮冠

▽……昨日の武道大會

既報十日の忠魂祭終了後松ケ岡公園で開催された武德會平分會の武道大會は三百餘名の選手が出場夫々覇を爭つた結果、劍道は平が二年連勝の榮冠を獲得したが弓道は前年の覇者好間が惜しく敗れ湯本の優勝に歸した、戰績は左の如くである

▽團体(劍道)一等平、二等鹿島、三等內郷(弓道)一等湯本、二等磐崎、三等好間

▽個人(劍道有段者)一等平三段增尾孝介、二等同志賀義一、三等三阪三段田子三郎、(同段外)一等平商佐藤秀夫、二等同大樂好彥、三等同藤井有三(柔道)一等小名濱藁谷勝男、二等好間坂本佐太郎、三等平鎌田與四郎(弓道)優勝湯本大槻朝一(銃劍術)一等夏井小林勝太郎、二等神谷酒井重雄、三等同林命

警官隊に出會しザンブと河中へ

娘斬り事件の副產物

追跡して難なく逮捕

娘斬り事件の副產物――娘斬犯人を檢擧の爲め平署員の一隊が九日夜十時頃夏井川橋上にさしかゝるや突然ザンブとばかり河中に飛び込み逃走した不審の男あり追跡の末逮捕したがこの男は茨城縣多賀郡南中郷村生れ目下住所不定無職前科三犯鈴木宇之吉(四二)といひ平市內を中心に萬引、コソ泥を働いてゐたものと判明目下留置し餘罪取調べてゐる

重傷を負はせ知らぬ顏の

運轉手檢擧

田人村字黑田品川炭礦トラック運轉手西澤忠好(二九)は十日午前八時頃植田町字月山下地內縣道を疾走中通り合はした同村字荷路夫農有原寅雄さん妻いの(三二)さんを刎ね飛ばし全身に打撲傷を負はせながら素知らぬ顏でゐたところを植田署に檢擧された、尙いねさんは目下植田町前田醫院で加療中だが生命危篤である

所得稅取扱

平稅務署懇談

平稅務署では今般の改正所得稅法實施の結果甲種勤務所得並に甲種配當利子に對する分類所得稅を各支拂者から夫々徵收する事となつた爲め取扱の方法に關し親しく研究を遂げて事務の遂行上に遺憾なきを期すると來る十三日午前九時から同署會議室に各支拂者の參集を求めて協議會を開くと

工場協會平支部

優良從業員表彰

工場協會平支部では十三日午前十時から市公會堂で總會を開き優良從業員八十四名を表彰するが十年以上の勤續表彰者は左の如くである

▽旭ガス會社(平)松坂松美(二十三年)▽佐藤鐵工場(平)福內賢五郎(十六年)丹野竹次郎(同)大峯政雄(十一年)▽品川白煉瓦工場(湯本)磯上昇太郎(十三年)渡邊忠次郎(同)石井定衞(同)西田三郎(同)野木源太(同)平子三吉(十二年)▽中寺製材所(三阪)小口萬六(十四年)▽山田麻袋工場(內郷)武田安右衞門(十五年)高木長俊(同)山崎八十(同)

小名濱支局通信

廻游途上より

【五】

支局長　小野務平

直江津の北陸地方に於ける要津たる事は一度を足を入れたものなれば判明する、唯積雪の連峰に苦しめられて初めて日本海に面し岸打ち女波男波の漂ふは見ては白雪は既に姿を消したたらうと思ひの外瓊樓と化し白銀を敷くに至つては寒國の生產上に澁滯を釀す容易ならざるを推知し得るものである。

汽車は米原行きで玆に汽車のつけ替へによつて其儘發車すると云ふ準備であるから別に苦心はないが直江津からは海岸傳へに疾走するのであるが糸魚川(いといがは)まで四十分此邊から親不知の難關に差し掛るのであるが昭代の今日親不知の難險はとう捌かれ居るかは行客をして好奇心を漁る材料であつた事は言ふまでもない。

記者は此旅行中姥捨山と古蹟と、親不知の險とは共に探究の眼目とした地點であつた、然るに姥捨山の如きは雪山と化し行人の鬼啾を聞くを得ざる文化に浴して居るに至つては唯其名のみを存するに過ぎざる感を深くした、第一探究に於て然りとせば第二探究の親不知險こそ最大眼目でなくてならぬ。

記者の座席の向ひ側に恰もよし糸魚川町の老人の席を占むるに出會し往時の物語りを聞くを得たのは此上もない探究資料であつた、里老は劈頭一番語り初めた。

北越の山容は他鄕の山形とは全く其組成に於て違つて居る、即ち懸崖絕壁で南壁に見る眞の奇岩怪石を以て淨雪峨々たる山容である、是れが爲め積雪深いその絕壁から崩雪が來ると云ふと全く際限がない獨り親不知の險にあらざるも親子遂に離れ／＼になるのが如何とも救ひ難い災難である。

この危險あるにに親不知の難險は海波咆哮其絕壁を嚙むのであつて既に斷崖の危險ある上に波濤の襲來もある、生を欲する火急の場合期せずして親不知を叫はしむに至る事から遂に親不知の難所を産んだのである。

と其古事來歷を語つて吳れたのである、成る程信州から出でて越中、越後に入ると其山形が全く磐城地方と違つて居る、屹立する屛風の如く千仞の斷崖實に心膽を寒からしむるものが左右前後送迎に暇がないこの上海波踊つて岸を洗ふと云ふ狀況は想像するだに戰慄を覺めるものである。

海上に漂ふ屍体

遭難漁船の水夫長

十日午前四時頃小名濱港南方三浬沖合で出漁業中の同町小野德太郎氏所有傳馬船大井丸(五トン)が海上に漂流してゐた溺死体を發見したがこれは去る五日夜中ノ作沖合で激浪のため沈沒した鉦榮丸の水夫長德島縣海遂郡牟岐村淺香春吉(三五)君と判明した

相次ぐ學校荒し

渡邊校でミシン盜難

渡邊小學校では十日朝二階の裁縫室からミシン一臺この價格三百五十圓が何者にか盜み出されてゐるのを發見、早速植田署へ屆出たが去月二十七日には植田町及び內郷村高坂小學校に盜難事件あり相次ぐ學校荒しに平、植田兩署では目下犯人嚴探中である

不合格を惶れて

溜池に投身自殺

夏井村字五味作農キクさん長男市井博(二三)君は十日午前六時頃附近の溜池に投身自殺を遂げたが、原因は近く行はれる徵兵檢査に心臟病で合格出來そうもないのを悲觀した結果と判明した

平署管內警防團

春季の聯合檢閲

十七日磐中校庭で執行

平署管內警防團春季聯合檢閲は十七日午前八時から磐城中學校々庭で執行される

平市人事

◎出生

△南町六九飯田常信氏長女一子さん

◎婚姻

△新川町一四目下京城府知泉町一〇七林龍郎氏(二八)と宮城縣刈田郡白石町宇澤目一五菊地隆(二四)さん

ラヂオ

今晩の部

▽後六、〇〇　子供の時間　國史劇(第四回)「大化の新政」吉原鐵夫外「最近の國際情勢と中南米諸國」野田良治

▽後七、二〇　鄕土に寄する言葉(錄音)日本大學工學部長工學博士茂庭忠次郎

▽後七、三〇　國民歌謠

▽後七、四〇　音樂劇「夢殿の觀音」長門美保阿部幸次外

▽後八、三〇　時局談話「國民體力と厚生問題」厚生技師醫學博士古屋芳雄

▽後九、〇〇　若い時代(錄音)

▽後九、一〇　詩吟物語「梁川星巖」山田積善

明日の部

▽前九、四五　幼兒の時間　オハナシ「ポチトタマノオ話」(二)　武田朗　山口淳子

▽前一〇、〇〇　家庭メモ

▽前一〇、二〇「季節と草花の栽培の實際」宮城縣農學校教諭石川茂喜

▽後〇、〇五　俚謠

▽後三、〇〇　婦人の時間　厚生省職業部長內藤寬一

▽後三、三〇　特輯講座「傷痍軍人の爲に」…傷痍軍人大阪職業補導所より中繼…「傷痍軍人に對する職業再敎育の實況に就て」下松桂馬

▽後六、〇〇　子供の時間(對話)コドモ健康讀本　東北帝大助教授安倍弘毅他兒童

▽後七、二〇　鄕土に寄する言葉(錄音)舞踊家石井漠

▽後七、三〇　國民歌謠

▽後七、四〇　中支より

▽後八、〇〇　ヴァイオリン獨奏「小曲集」巖本メリーエステル

▽後八、二五　民謠風土記(山形縣の卷)熊谷アナウンサー

▽後八、四五　長唄「紀文大盡」唄吉住小桃次、小鼓望月左吉外

鄕土に寄する言葉

（午後七時廿分放送）

茂庭忠次郎
（宮城縣出身）

私は仙臺の一舊家茂庭竹泉の次男で學校出身後現在に至るまで殆ど一生を水道事業のために捧げ國內、支那、滿洲方面の斯業の爲にも出來る丈の事を盡して參りました、鄕土にも折々歸省する事があり、その發展振も親しく見聞してをりますが各方面とも今一歩といふ齒がゆさを感ずる事が尠くないのでありまして、東北の皆樣には徒らに自信や已惚れに甘んずることなく、此今一歩といふ──百尺竿頭一歩を進める底の覺悟と努力とを望んで止まない次第であります

華道會員募集

初心者の標準として專門研究者並に敎授者の爲に華道に關する理論及技術の大要を確實に習得せしむ

敎授科目　生花、盛花投入、立華日本華道濫觴　華道眞理、實地揷習解說、傳書講義

時間　每週日曜午前九時より正午迄　夜間部もあり

場所　平市田町五〇番地（市役所西 三光館橫となり）

──尙御希望に應じ出張敎授致します──

池坊華道
先崎翠峰敎授場

平病院（電六四一番）

平市警察署側【元共濟病院跡】

院主 院長　醫學博士　鈴木定藏

內科 小兒科　院長　鈴木定藏

一般內臟外科 外科 皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊孝

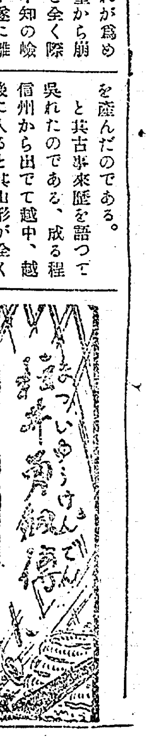
レントゲン科 物理的療法科　院長　鈴木定藏

藥劑科　部長　吉本孝平

◎診療時間　每日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）

往診隨時

病室完備…入院隨時【自炊ノ便アリ】



第四十七回

[illegible]

手裏劍の秘術

やがて[illegible]山中に一夜を明しましたが、[illegible]

[illegible]のは[illegible]の山中に入つて[illegible]

[illegible]此の[illegible]手裏劍の一[illegible]でござる。[illegible]

[illegible]手裏劍は[illegible]力の抜けたやうなことはない。[illegible]打つたる時の手の[illegible]依つて打つた[illegible]手裏劍三分[illegible]らば、[illegible]必ず[illegible]すと云ふ[illegible]いたした。[illegible]思ふ。それ故今[illegible]三日[illegible]なされよ。と云はれて[illegible]大いに悦んで、[illegible]身ではあるけれど、此の[illegible]三日[illegible]たとて[illegible]もあるまいと思ひまして、老人の言葉に從つて逗留することに成りました。モウ先方で引留るくらいですから[illegible]大切にして[illegible]した手裏劍の妙を教へてくれます。手裏劍と云ふものは武士として一通り心得置くべきもので先づ手裏劍の名人と云はれたその人に寛永時代では毛利玄[illegible]。此の人は四十二本の手裏劍を打つたと云ふ話でございます。

此の毛利玄[illegible]と云ふ人は、[illegible]の町人[illegible]と生れました。[illegible]れば[illegible]けぬやうになりました。[illegible]をいたしましたが、何うも

[illegible]日やつてゐるうち[illegible]と云ふものは恐ろしいもので[illegible]功くブッスリ[illegible]りました。そこで大いに[illegible]んで、[illegible]打つたびに一本も[illegible]外れないほどになりました。そこで今度は[illegible]山芋のやうな物を作り、[illegible]を[illegible]手に五本づゝぐらい持つて打つことにいたしました。初のうちはやつと打つても五本ながら[illegible]び出して何うも[illegible]く行かないが[illegible]日やつてゐるうちに段々[illegible]一本打ふと思へば一本[illegible]る。三本と思へば三本[illegible]、手裏劍の[illegible]は恐ろしいもので[illegible]起りましたからは、[illegible]ではない一つの[illegible]と心得、一心不亂、[illegible]へ大願を掛けて[illegible]をいたす。[illegible]太郎と云ふ人が[illegible]試合した事がない、[illegible]人にはなれぬと[illegible]心をして[illegible]を受けて自分から武士[illegible]にかけました。

遺傳環境

伊藤部[illegible]子

[illegible]をかたむけてゐる平田のぶさんはいふ。……「縄跳や、高跳を子供にさせますと、昨日より今日、今日より明日とメキメキ目に見えて跳巾が増す。子供が勢ひよくパッと跳ぶ瞬間、うまいッとかけ聲をかけてやるとぐつとまた一息ちがつて來る。歡びが出、自分を信ずる力がでる。他の子供とくらべても仕方がない、その子供の進歩のあとを見て、うまく勢ひつけるのだ。そして、この能力やがん張る力のたくましい進展は智能の方の進み方と軌を一にしてゐるのだからおもしろい」

彼女は、教育を無力なるものといひ教育は無より有をつくるには絶對に無力なるが故に、その子供の內にもつ力を十分に伸ばさなければならないのだ、といふ。

これは教育者として、けんそんな、分を知つた言葉である。

いかなるよき芽を內藏するも、よき環境と十分な教育の機會をもたなくては立派な成長をせず、美しい花も味よき果も望まれない。しかしいかに教育の力といへども內にもたざる芽を引出すことはできず、またのびて菊となるものを牡丹には變へ得ない。ラスキンは桃の木に桃をみのらせよといひ、白秋はバラの木にバラの花さく何ごとの不思議なけれど、と詠ふ。

遺傳と環境、このあざなへる繩のごとき中から、小きざみの一歩でもよい方に向はうとする民族の生について、母親たちの關心をのぞむこと切である。

學帽を脫いだ諸君へ
生活の激變から健康を守れ
衛生上の注意五ケ條

四月晴れの首途だ！學帽を脫いでけふから一人前の會社員であり、役人であり、銀行員であるのだ、このかがやかしい首途をする人たちのため、健康、衛生上から醫學博士服部[illegible]二郎博士に話注意をあたへて頂くことにしやう

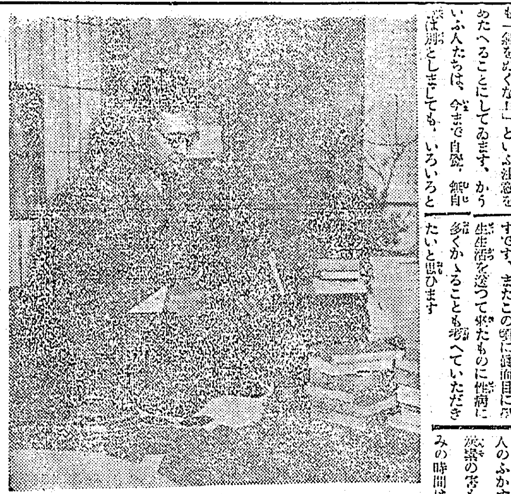
●私は卒業、學生々活に終りをつげた人たちや、學位を得たもの、洋行から歸つてきたものにはいつも「氣をぬくな！」といふ注意をあたへることにしてゐます、かういふ人たちは、今まで自習、練習は別としましても、いろいろと●精神的に疲れてゐるのですが、やつとその目的が達した時、精神的にがつかりしてこのため往々大きい病氣を起したのです、その甚だしいのは神經衰弱ですが、その他胃腸病、盲腸炎などにもかゝり勝ちです、從つてこの場合、急に緊張をとかず、次の目的を立てるなり、新しく實際に生きる方策を立てて行くことが肝要です

次は、規則正しく訓練された生活から、急に不規則な社會生活に入るために起る身體の變調でせう、そして●酒や煙草に親しむチヤンスも多くなり、品行上の誘惑も出てくることでせう。こゝで健康と品行に注意しなかつたら一生を棒にふることなきにしも非ずです、またこの頃に眞面目に學生生活を送つて來たものに性病に多くかゝることも考へていただきたいと思ひます

第三は運動の不充分といふことです。朝寢坊をして大急ぎで飯をくひ、バスや電車で會社へかけつけるといふことなしに、ゆつくりした時間をとり、會社への行きかへりには日光にあたり、或程度●テクれる道筋を作つてをくことが必要になります

そして休日には休養をとることを眼目にして、職場が身體を使ふ職の人は輕いハイキング、輕いテニスや魚釣などにしたしみ、事務的の仕事をする職の人は、山のぼり野球、人數以上のピクニック、運動をするがよいでせう、一體人間には一定のエネルギーの限度があるのですから、身體を使役する人間が、學生々活のやうに休日にはげしい運動をするなどは、禁物であつて絶無なしです、第四はビル生活の害です、大體ビルには、日本のやうな夏濕氣が多く●冬乾燥する氣候に適さないのですし、その上、室內人のふかすたばこからくる一酸化炭素の害も大きいのですから、休みの時間はできるだけビルからはなれることです、なほビルでは、脚が疲れた頭にひびきますから、なるべく頭にひびかぬものが選ばれるがよろしいでせう

第五は、會社へ入ると、學生時代より、腸酒も增し、肥つてきますから、食事もひかへ目にし、無用に肥らぬやう注意される必要があらうと思ひます



古壁の塗替へ

襖のよごれ、雨もりのしみ、さうでなくとも古びた壁は、部屋の明るい氣分をそぐものですから、この際一新しませう。それには誰にでも塗れる水性塗料を利用することです。

●まづ　すゝを拂ひ壁のよごれをサンドペーパーでこすりとります。よごれをそのまゝにしておくと水ときの塗料ですから折角ぬつたのににじみ出るからです。

壁面に傷やくぼみがあつたら粉末のこの塗料を堅く練つてつめます。

次に塗料をときますが、水性塗料一ポンドに付微温湯三分の一立（約一合八勺）にとかし二十分位よくまぜます。糊狀になりますから、そのまゝ二―五時間位放置します。このとき方がよくないと

●上手に塗れませんから注意して行ふことです。もし粒々があるやうならば目の細かいふるひまたは寒冷紗でこします。なほまへの牛乳位の水を加へてぬりやすくします。色は十種位もあります。

また一回ぬりですませようとするときは少し濃くし、二回で仕上げる時は一回目を橫に二回目を縱にといふやうにぬればよいのです。

●二回目は必ず乾いた上に手早くハケを動かしさつと行ふことです。ハケは毛の長目でたつぷり塗料を含むものがハケ目がたゝなくてよろしい。板壁、コンクリート壁、紙、喰、天井、何へでも塗れます。この水性塗料は屋內用に限り、屋外は油性ペイントを用ひます。一坪二三十錢位。

●小ばなし●

「女房を殺した擧句、火をつけて燒くとは徹底してゐるね」

「それもあまりやかれたからだらう」

これから多くなる傳染病
恐るべき胃腸機能の虛弱
胃腸病は萬病中最も多い病氣

內閣統計局の調査によると、下痢及び腸炎で死亡する者だけでも昭和六年中に一四〇、〇六二人、同七年一三七、三五一人、同八年一四二、五二九人、同九年一二七、八五三人となり、累年我國死亡者の第一位をしめてゐるのであります。固て胃の疾患やその他の諸炎カタル、胃潰瘍、赤痢、腸チブ胃腸機能の虛弱が誘因となるものも加へる時は、それこそ全死亡者の過半數にも達すると云ふ悲しむべき現狀であります。

何故斯くも多數の同胞が刻々胃腸病のためにたふれ、惱むかと申しますと、複雜を加へる現代生活が胃腸を刺戟し、不攝生を強ひることが多い結果にもよりませうが、また一般的に胃腸病に對する認識が充分でないことも見逃し得ない原因の一つといはねばなりません

胃腸病も慢性になると多くの人は不治のやうに考へて、手當を怠つたり、治療を等閑にする嫌ひがありますが、これは大きな誤りで決して痛みがないからと油斷してゐる間に症狀がどんどん亢進して氣のついた時分には病膏肓に入り取り返しのつかぬ不幸を見ると云つた例は決してすくなくないのであります。

もし胃腸病が治り難いとか、再發しやすいと云ふ人があるなら、それは複雜な障害に適當した良藥をまだ服用してゐないのと、食餌の選擇がわるかつたり、忍耐力が足らない爲で、如何に頑固な慢性胃腸病でも、癌腫でない限りは治癒し得るのが專門醫家の定說であり、事實の證するところなのであります。

次に服藥の問題であるが數多い胃腸藥の中で最も信用のあるのは何と云つてもアイフであらう。

その處方[illegible]、效果は[illegible]他品の及ぶところではない、胃腸に惱しむ人は直ぐ試みられるがよい

附近の藥店にあるはづですが、若し品切れの時は東京市京橋區[illegible]町九一　昭和商會へ本紙で見た旨記入申込まれよ。

○慢性胃腸
○病養生訓

一、常に胃の負擔を輕くし暴飮暴食は絶對に愼むこと
一、食物を充分咀嚼し、固い物と液體を同時に攝らぬこと
一、不消化物、脂こき物、過熱過冷の飮食物を攝らぬこと
一、酒、煙草、コーヒー、香味料等刺戟物を禁じること
一、食後三十分乃至一時間位は右下にして靜臥すること
一、常に腹卷を締め、痛む時は胃部を温めること
一、治療藥アイフ（重症には特製）を缺かさず服用すること

體質に應じた基本的な美肌法
化粧品に頼り過ぎるな

時節柄、美容法も化粧品をあれこれと用ひて美しくなることより、體の健康法、洗顏法、食餌療法など基本的な美容法によつてしんから美しくなることを考へたいものです、そこでいろいろと體質によつての手當を申上げませう

●そばかすー　このそばかすやしみは外部から化粧品をいくらぬつても容易にとれるものではありません、まづ睡眠と運動が不足することが最もよくなく、運動不足だつた證明は必ずそばかすが目立つて濃くなつてゐるのを發見なさるでせう、また、婦人は流產などにしみが增加することが多いのでも知られるとほり、婦人科的な疾患と大きな關係があるものですから內服藥を試みられるなら、さういふ方面に效果のある漢方藥がよいでせう、また藥用を主とし便通をとゝのへるようにいたします。

にきびーにきびはつぶすとあとになると思つてそのまゝにしてゐる方がありますが、しこつてゐるのはいぢらぬがよいが、根が白くなりかゝつたときを見計らつてつぶしてしまふとあとが殘らず出來かたも少くなります、毛孔へごみがたまつてできる人もありますから常に清潔を保つよう熱い湯で石鹸で洗ひあとをつめたいタオルで冷しておくと宜しうございます、胃腸に關係する場合もありますから、便通をとゝのへることが大切です

色黑―オキシフルをつけると色が白くなると申しますが、これは皮膚をあらしますからおすゝめできません、無理に白くするよりは、黑い人は黑いなりにみがきこんだ健康の美しさを強調したいと思ひます、日常ぬかに砂糖を入れてみがきこむのが何よりです

脂肪性―便通と運動が必要、脂肪性のひどい方にはマッサージも有效です、洗顏は良質の石鹸を使ふやうにしたいと思ひます

靴下を編むには底に力絲を

（問）　スフ毛絲であんだことも靴下がまことに弱くて困ります。補強工作をお敎へ下さい。

（答）　スフ毛絲のよわさはスエーターなどではそれほどでもありませんが。靴下の場合はほんとうにこまります。できれば底の部分だけふるいのでも純毛を使ふとよろしい。ごくほそい毛糸をスフ毛絲に合せて用ひるのも一法です、純毛が全然お手許になければ、木綿糸を一しよにあみ込むとよほどちがひます。木綿絲もなるべく純綿がよく、カタン絲の十番か二十番くらひを用ひればなほ結構です。あみ方は踵から爪先まで丸あみにせず、甲と底とをべつべつにあみ爪先でいつしよにあみますと、やぶれた時底の方だけほどいてあみなほせばまた新しいものとしてはかせることが出來ます

時局小說　驀進

士別丁樹
北野傳畫

（[illegible]）

第一二〇回

結婚問題（五）

呼ぶべくもなくアザ稔に逢ひない、磯吉には全く思ひがけないことであつた、然し一體何の用で來たのだらう、好枝を追つて來る程深く想ひ込んでゐたとは思はれないし、さう思ひたくもなかつた。

「それで何處へ行つたんだらう」

「由野さんの下宿へ行つたんでせう受付で由野所訊いてゐましたよ」

「えッ僕の住所を？」

「えゝさうです」

「さうかーーいや有難う」禮つて戻れ」

給仕が出て行くと磯吉は直ぐ机の上の受話器を取上げた。

「モシ〱、あ、小母さんだね、僕ですよ、由野だよ、え、何、お[illegible]さんが待つてる、さうか、直ぐ歸るがね、僕のことは一體云つてないだらうね、興味が[illegible]いつて…

[illegible]役で聞けれど認識に僕のことをお母さんに聞いてくれ」

磯吉が歸ると、叔母の留め好枝へ電話をして聞かうかと思つた。然し一にも好枝の後を追つて來たものとすれば重大問題である。何か不吉な出來事が起るやうな氣がして來た。

磯吉は思ひ切つてアパートへ電話をかけると、やがて出てきたのは叔母である。

彼はホッとして

「僕はね、田舍から或る男が僕を訪ねて來たんですが、好枝さんにとつても迷惑すべき者ちやないんです、若しその男に會つたら危險ですから、訪ねては行くまいと思ふけれど、萬一行つたら追返して下さい、それから、これは病人には內證にして置いて下さい、ちや何れ伺ひます」

磯吉は自動車を出て、直ぐ下宿へ歸ると、小母さんが心配さうな顏で彼を迎へた。

「どうしたんですの、あの人は。大丈夫？」

小聲で云つて、二階の彼の部屋を眼で知らせる。

「僕の部屋にゐるんですね、何？　丈夫ですよ」

磯吉はそのまゝ階段を上つて行つた。

「これはどうもーー」矢張りアザ稔だ。磯吉が部屋へ這入つてくると、アザ稔は窓になつてゐた[illegible]挨拶した。

「突然の上京のやうだが、何の用で來たんだね」

磯吉は靜かに訊ねながら、アザ稔の顏をヂッと見つめた。

「實は俺アお前さんに訊きたいことがあつてやつて來たんだ」

「訊きたいことーーどんなことだ」

「好枝坊が東京へ來てしまつたんだよ、山の連中ちやお前さんの跡を追つて東京さ行つたと云つてるんだ。あれの居る所を知らせて[illegible]」

「ほうそんな噂かね、だが君と好枝さんは一體どんな關係があるんですか」

「どんな關係つて云はれると、甚だ困るけんど、實は俺の方は好枝を嫁にもらはうと思つてーー」

「お嫁に？それもいゝだらう、しかし、それはあの人も承諾してゐるのかね」

「それは好枝坊に逢せば判る、兎に角逢はして下せえ」

「會はせるにも會はせないにも、この通りの部屋だ、何處でも調べたらいゝだらう」

「ちや好枝坊は知らねえといふのかい」

磯吉は馬鹿々々しさに呆れて話を早く打切りたいと思つた。

アザ稔の眼がギラリと光つて急に險惡な顏になつた。

「知らない」

磯吉は、さう云つたが

「然し、或は訪ねて來るかも知れないから、その時はお知らせ[illegible]」

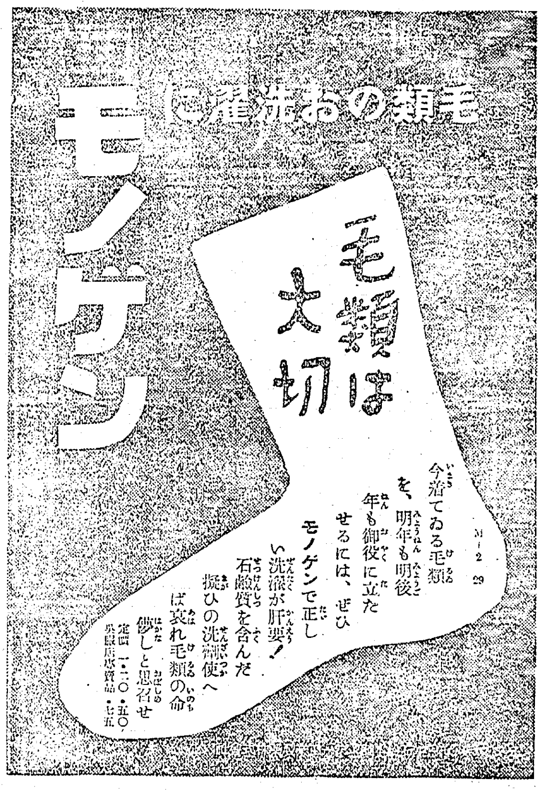
「さうか、仕方がねえ、[illegible]や、俺ア自分で探すよ、けど[illegible]みつけたら承知しねえよ」

アザ稔は氣味惡くニタリと笑つて、やがて出て行つた。

（やつぱりさうだつたのかーー

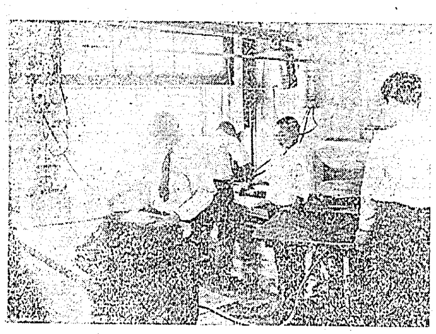
春物は！
是非當店から
（在庫豊富）
玉屋洋品店
平 田町通 電話六五六番

保險は帝國へ!!
帝國生命
平中央代理店
◎御報次第社員參上


毛類のお洗濯に
モノゲン
毛類は大切

M-2 29
今着てゐる毛類を、明年も明後年も御役に立たせるには、ぜひモノゲンで正しい洗濯が肝要！
石鹸質を含んだ擬ひの洗劑使へば哀れ毛類の命儚しと思召せ
定價 一・二〇 ・五〇 ・七五

市內有名店にあり
代理店
平 二、電 五二
㊣中野洋品店



仕事は早くなりました
無敵蒸氣仕上機械設備
此の度び新に日、英、米二十四特許權を有する優秀な蒸氣仕上機械を設備しました
毛織物の純ドライクリーニング
西洋洗濯は！
絶對他店の追從をゆるさず
△他店で御氣に召さぬ時は田町の
白榮舍ランドリー

喜多流謡曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
喜多流謡曲仕舞　白土會
平市田町六九
電話一二七番

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話　六一三番

フルーツみつ豆
あんみつ豆
フルーツポンチ
フクジケン獨特の
とんかつ………と
特製　燒きかつ
福壽軒食堂
平驛前・電二八番

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電話六七四番

提灯と國旗
[illegible]

芳醇！
美味！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄